

東豊田小児童



葉脈が浮かび上がるのを楽しむ児童
|| 静岡市駿河区池田の静岡ガス静岡支社ビオトープ

鉛筆こすり「葉脈」浮かんだ!

静岡ガス支社で自然観察

静岡ガスはこのほど、静岡市駿河区池田の同社静岡支社敷地内に設けているビオトープ(動植物の生息空間)に同区の東豊田小1年生71人と常葉大社会環境学部4年生5人を招き、自然観察教室を開催した。児童はビオトープに生息する植物の葉脈(葉の表面の筋)を鉛筆でこすって写出す「葉脈写し」などを体験した。

児童は生活科の授業の一環として参加した。クスノキやモミジなど、ビオトープ内で採取した植物の葉の上に紙を敷き、葉脈写しに挑戦。葉脈の形が浮かび上

がると、児童は目を輝かせた。ミスナラなどのドングリ拾いも行い、児童は落ち葉をかき分けて見つけたドングリの大きさや形を見比べた。土肥柊希さん(6)は「探すのが大変だった」と

話した。

大学生は先生役として、アサガオなど植物の種子の標本を児童に見せて説明したほか、同社社員と協力して作ったビオトープ内の生き物の図鑑を配布した。同大の杉村翼さん(21)は「今日の体験を思い出してほしい」と話した。